

“スペースシャトル・ディスカバリー号(STS-120)のミッション状況”

スペースシャトル「ディスカバリー号」(STS-120)は、10月24日午前0時38分にNASA ケネディ宇宙センター(KSC)から打ち上げられ、飛行3日目の10月25日午後9時40分に国際宇宙ステーション(ISS)にドッキングしました。

飛行4日目には第1回船外活動が行われ、Sバンドアンテナの回収、「ハーモニー」(第2結合部、ノード2)をペイロードベイ(貨物室)から取り外す準備、P6トラスの移設準備などが行われました。また、「カナダアーム2」(ISSのロボットアーム)により、ハーモニーが「ユニティ」(第1結合部、ノード1)に仮設置されました。

飛行5日目、STS-120クルーとISSクルーはハーモニーに入室し、内部の装備を整える作業を開始しました。なお、ハーモニーはディスカバリー号が分離した後、恒久的な取付け場所である「デスティニー」(米国実験棟)前方に移設されます。これにより「コロンバス」(欧州実験棟)と「きぼう」日本実験棟をISSに取り付ける準備が整います。ディスカバリー号の熱防護システムは、検査結果から帰還に問題ないと判断されました。

飛行6日目の第2回船外活動では、P6トラスの移設準備、ハーモニー外部の装備を整える作業、ISS右舷の太陽電池パドル回転機構(SARJ)の点検などが行われました。船外活動によるP6トラスの移設準備が整った後、P6トラスはカナダアーム2によりZ1トラスから取り外され、飛行7日目にP5トラスの取り付け位置付近まで移動され、飛行8日目にP5トラス先端に取り付けられる予定です。

なお、SARJの点検結果から、第4回船外活動で追加点検を行うこと、そのためドッキング期間を1日延長することが飛行7日目のミッション管理会議で決定しました。

●STS-120ミッションの最新情報や詳細は以下のホームページをご覧ください。

<http://iss.jaxa.jp/iss/10a/> (JAXA: 日本語)

http://www.nasa.gov/mission_pages/shuttle/shuttlemissions/sts120/index.html (NASA: 英語)



ディスカバリー号の打上げ
(写真はすべてNASA提供)



ISSに近づくディスカバリー号
(飛行3日目)



第1回船外活動を行うスコット・パラズキー宇宙飛行士(飛行4日目)



ハーモニー内でのインタビューの様子(飛行5日目)



第2回船外活動を行うダニエル・タニ宇宙飛行士(飛行6日目)

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

☆最初のISS構成要素打上げから3266日経過しました

☆第16次長期滞在クルーのISS滞在は18日

(ダニエル・タニ宇宙飛行士は5日)経過しました

☆ISS動向

第16次長期滞在クルーのペギー・ウィットソン、ユーリ・マレンチェンコおよびクレイトン・アンダーソン宇宙飛行士は、ディスカバリー号(STS-120)の到着準備を整え、ISSに到着したクルー7名を迎え入れました。

現在のISSコマンダーはウィットソン宇宙飛行士、STS-120コマンダーはパメラ・アン・メルロイ宇宙飛行士です。ISSコマンダーとSTSミッションコマンダーを同時に女性が務めるのは初めてのことになります。

また、ダニエル・タニ宇宙飛行士がアンダーソン宇宙飛行士と交替し、正式に第16次長期滞在クルーとして約2ヶ月間のISS滞在を開始しました。アンダーソン宇宙飛行士はディスカバリー号で地上に帰還します。



ISSに到着したSTS-120コマンダーのメルロイ宇宙飛行士(右)を歓迎するISSコマンダーのウィットソン宇宙飛行士(左)(提供: NASA)

■星出宇宙飛行士ジャーナル“Tsukuba, Station, S/G1”掲載中 → <http://iss.jaxa.jp/astro/hoshide/journal/>

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。